

【 8 款 土木費 】

地域の産業、経済、文化ならびに観光産業の発展、市民の日常生活の向上を図るうえでも道路交通網の整備は不可欠なものであり、建設行政の役割は多大なものがある。近年の厳しい社会情勢の中で、限られた財源を有効に活かしながら、平戸市総合計画に基づき、「安全・安心なまちづくりの推進」「まちを支えるネットワークの充実」の 2 本を柱に建設事業を推進した。

また、河川改良、急傾斜地崩壊対策事業などの緊急的な事業の実施により、市民の生命と財産を災害から守る防災施設の整備も行った。

まちづくり事業では、自然と調和した機能的で美しく、快適に暮らせる環境を目指し、街なみ環境整備事業、まちづくり総合整備事業や都市公園の整備を行い、安全・安心なまちづくり、個性的で魅力ある街なみづくりの整備に努めた。また、本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランを策定した。

住宅事業では、入居者及び地域の居住環境の整備を図るとともに、老朽化した既存住宅の改修を行い、安全で快適な住環境づくりに努めた。

(1) 道路新設改良

実施計画に基づき、交付金事業として山中・紐差線外 5 路線、過疎対策事業として南川原循環線外 5 路線、辺地対策事業として深月線外 2 路線の計 15 路線の改良舗装工事を実施するとともに、県関連事業、その他道路改良工事等を実施し、豊かで住みよい生活環境づくりに努めた。また、平成 24 年 12 月に発生した笹子トンネル事故を踏まえた国土強靱化推進のためのインフラ老朽化対策として、道路インフラの総点検を実施した。

(2) 橋りょう整備

今後、老朽化する橋りょうの架け替えや維持・修繕費用の縮減を図るため、平成 23 年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕を実施し、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することに努めた。

(3) 河川改良

河川改良工事においては、猪渡谷川外 14 河川の工事実施により、河川の氾濫及び護岸の崩壊を防止し、住民の安全確保に努めた。

(4) 急傾斜地崩壊対策

災害危険箇所指定された地域において、市営事業（県補助）として小川地区（度島町）外 1 地区の工事を実施し、安全・安心なまちづくりに努めた。

(5) 港湾整備

船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。

(6) 都市公園整備

市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、定期的な点検及び整備を行った。

(7) 美しいまちづくり推進事業

平成 15 年度に「歴史を活かした、歩いて楽しいまちづくり」を基本理念とした「平戸港周辺地区景観形成事業基本計画」を策定し、街なみ環境整備事業の整備方針とした。平成 17 年度からは「平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画」に基づき、修景施設、道路美装化及び電線類地中化等の整備を進めている。

平成 25 年度は、住宅等修景として崎方地区、4 町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）及び 2 町地区（魚の棚町・職人町）、地区施設整備として、電線類地中化及び道路美装化等の整備を行った。

このほか、景観資産として登録されている亀岡神社（神楽殿）の現状を保存するため改修事業を行った。また、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、市街地中心部の活性化を図るため、まちづくり交付金を活用した「まちづくり総合整備事業」を行っている。

都市計画道路亀岡循環線の改築事業のほか、平成 26 年 4 月 1 日供用開始を目指し、老朽化していた平戸港湾ターミナルを解体し、新たに平戸市観光交通ターミナルを建設した。

(8) 住宅整備

入居者の生活の安全及び住みよい住宅環境の向上を図るため、大膳原住宅 A 棟・上大垣住宅・馬の元団地計 10 棟 60 戸の外壁改修・屋上防水工事をを行い、老朽化した既存住宅の居住環境改善を行った。

平成 25 年度からは、建替え事業として沓部浦住宅建設事業に着手し、建設用地である県有地と市有地の交換手続きに取りかかった。

事業名	事業内容	事業費
活力創出基盤整備 総合交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 262 頁】 【事項別明細書 264 頁】	①山中・紐差線 事業費 30,500 千円 (舗装) L=270m W=5.5 (9.25) m ②山中・紐差線(橋りょう) 事業費 129,400 千円 うち年度内支出 51,000 千円 (測量・設計) L=420m W=5.5 (7.0) m ③堤線 事業費 60,100 千円 (舗装) L=1,513m W=5.5 (7.0) m ④神宮坂口線 事業費 158,200 千円 うち年度内支出 22,800 千円 (測量・設計) L=560m W=5.5 (9.25) m ⑤大谷線 事業費 27,300 千円 うち年度内支出 11,200 千円 (測量・設計) L=800m W=5.5 (9.25) m ⑥釜田線 事業費 20,400 千円 うち年度内支出 6,300 千円 (測量・設計) L=800m W=5.5 (9.25) m	181,900
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①山中・紐差線 事業費 51,000 千円 (改良) L=270m W=5.5 (9.25) m ②堤線 事業費 325,500 千円 うち年度内支出 238,900 千円 (改良) L=623.5m W=5.5 (7.0) m ③道路ストック点検 事業費 20,000 千円 (路面性状調査) L=275.5km (道路構造物等点検) 201 箇所 (橋梁点検) 25 橋	309,900
過疎対策道路整備 事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	①田崎神鳥線 事業費 27,000 千円 うち年度内支出 11,000 千円 (改良) L=500m W=4.0 (5.0) m (測量) L=400m W=4.0 (5.0) m ②後平梅崎線 事業費 41,200 千円 うち年度内支出 22,400 千円 (改良) L=47.2m W=4.0 (5.0) m ③紙漣線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 11,400 千円 (改良) L= 45m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=210m W=4.0 (5.0) m ④山中・紐差線 事業費 38,000 千円 (舗装) L=461m W=5.5 (7.0) m ⑤川内清水線 事業費 15,000 千円 うち年度内支出 5,100 千円 (改良) L=145m W=4.0 (5.0) m	87,900

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
114,442	65,927		1,531	市民生活に密着した主要市道の整備を重点的に実施するとともに、その他の生活道路についても単独改良及び安全施設の設置等を実施し、流末排水路の整備、急カーブの改良、老朽箇所を整備により、交通の安全が確保できた。そのなかで、本年度は市道堤線が完了した。 また、県営事業として、県道及び国道の改良、舗装工事が実施され、交通の緩和及び安全性が保たれた。
200,005	101,800		8,095	
	87,900			

事業名	事業内容	事業費
過疎対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>①田崎神鳥線 事業費 75,000 千円 うち年度内支出 32,700 千円 (改良) L=140m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=280m W=4.0 (5.0) m</p> <p>②後平梅崎線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 5,200 千円 (舗装) L=143m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③紙漣線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 15,600 千円 (改良) L=210m W=4.0 (5.0) m</p> <p>④山中・紐差線 事業費 53,000 千円 うち年度内支出 14,800 千円 (舗装) L=244m W=5.5 (7.0) m</p> <p>⑤川内清水線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 8,400 千円 (測量) L=520m W=4.0 (5.0) m</p>	76,700
辺地対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	<p>①深月線 事業費 30,000 千円 (改良) L=212m W=4.0 (5.0) m</p> <p>②山の手線 事業費 16,800 千円 うち年度内支出 5,300 千円 (改良) L= 80m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③神山線 事業費 18,300 千円 (改良) L=112m W=3.0 (4.0) m</p>	53,600
【事項別明細書 266 頁】 【事項別明細書 268 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>①深月線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 1,100 千円 (用地) 1 式</p> <p>②山の手線 事業費 23,000 千円 うち年度内支出 20,500 千円 (測量) L=770m W=4.0 (5.0) m</p> <p>③神山線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 17,900 千円 (改良) L=124m W=3.0 (4.0) m</p>	39,500

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	76,700			
	53,600			
	39,500			

事業名	事業内容	事業費
道路整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	<p>主要幹線である国・県道に係る地域の産業、経済、文化及び観光産業の発展、市民の日常生活の向上のため、次の道路整備事業にかかる県工事負担金</p> <p>①国道 383 号</p> <ul style="list-style-type: none"> 川内工区 (鄭成功児誕石前) <事業費 25,545 千円> 市負担金 3,831 千円 (改良) L= 76m W=6.0 (9.75) m 川内工区 (川内橋) <事業費 46,000 千円> 市負担金 6,900 千円 うち年度内支出 4,395 千円 (測量) L=120m <p>②国道 204 号</p> <ul style="list-style-type: none"> 田平荻田工区 <事業費 46,000 千円> 市負担金 6,900 千円 うち年度内支出 3,975 千円 (用地・補償) 1 式 <p>③平戸田平線</p> <ul style="list-style-type: none"> 高越工区 <事業費 39,000 千円> 市負担金 5,850 千円 (改良) L=420m W=5.5 (7.0) m (舗装) L=420m W=5.5 (7.0) m 猪渡谷工区 <事業費 19,500 千円> 市負担金 2,925 千円 (改良) L=210.4m 5 箇所 <p>④以善田平港線</p> <ul style="list-style-type: none"> 下寺工区 <事業費 43,875 千円> 市負担金 6,581 千円 (改良) L=290m W=5.5 (9.25) m 瀬戸工区 <事業費 29,250 千円> 市負担金 4,388 千円 うち年度内支出 2,288 千円 (改良) L=200m W=5.5 (8.95) m <p>⑤田の浦平戸港線</p> <ul style="list-style-type: none"> 崎方～木引田工区 <事業費 9,750 千円> 市負担金 975 千円 うち年度内支出 375 千円 (電線管路敷設) L=170m <p>⑥平戸生月線</p> <ul style="list-style-type: none"> 生月工区 <事業費 14,625 千円> 市負担金 2,194 千円 うち年度内支出 1,234 千円 (改良) L=207.1m W= (7.0) m <p>⑦大根坂的山線</p> <ul style="list-style-type: none"> 前平工区 <事業費 24,375 千円> 市負担金 3,656 千円 (改良) L=270m W=5.5 (7.0) m 	35,110

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			35,110	

事業名	事業内容	事業費
道路整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	<p>【平成 24 年度繰越明許費】</p> <p>①国道 383 号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上中津良工区 <p><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 192 千円</p> <p>(改良) L=240m W=6.0 (9.75) m</p> <p>②国道 204 号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田平荻田工区 <p><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 2,902 千円</p> <p>(測量) L=206m W=6.0 (9.75) m</p> <p>③平戸田平線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯良工区 <p><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 1,813 千円</p> <p>(測量) L=160m W=6.0 (9.75) m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高越工区 <p><事業費 45,000 千円> 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 1,492 千円</p> <p>(改良) L=420m W=5.5 (7.0) m (舗装) L=420m W=5.5 (7.0) m</p> <p>④以善田平港線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下寺工区 <p><事業費 50,000 千円> 市負担金 7,313 千円 うち年度内支出 1,552 千円</p> <p>(改良) L=290m W=5.5 (9.25) m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸工区 <p><事業費 30,000 千円> 市負担金 4,388 千円 うち年度内支出 2,742 千円</p> <p>(改良) L=200m W=5.5 (8.95) m</p> <p>⑤田の浦平戸港線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崎方工区 <p><事業費 20,000 千円> 市負担金 1,950 千円 うち年度内支出 788 千円</p> <p>(改良) L=900m W=4.5 (7.0) m (舗装) L=900m W=4.5 (7.0) m</p>	11,481

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			11,481	

事業名	事業内容	事業費
道路単独改良事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	①館浦 11 号線 事業費 39,600 千円 うち年度内支出 11,200 千円 (改良) L=210m W=4.0 (5.0) m	81,729
	②単独改良事業 54,068 千円 市道宝亀浦線外 82 路線	
	③安全施設事業 8,700 千円 市道臨港線外 26 路線	
	④原材料支給 6,839 千円	
	その他(事務費) 922 千円	
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】	9,100
	①館浦 11 号線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 9,100 千円 (測量) L=216m W=4.0 (5.0) m	
道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	<地域の元気臨時交付金事業> ①(平戸地区) 市道岩谷線外 9 線 66,000 千円 ②(生月地区) 市道沓部中央線 23,399 千円 ③(田平地区) 市道大崎線外 2 線 19,548 千円 ④(大島地区) 市道五条寺線外 2 線 12,997 千円	121,944
橋りょう整備事業 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	橋りょうの傷んだ箇所を補修事業を行った。 ①遠見陸橋橋りょう補修(大久保町) 567 千円 階段工 1 式 ②久吹橋橋りょう補修(田平町) 1,291 千円 高欄取替 1 式	1,858
橋りょう長寿命化 事業 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	年次補修・点検計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕を行った。 4 橋補修 17,010 千円 (勝尾岳線 1 号橋、遠見陸橋、平戸口跨線橋、太田橋、前田橋)	17,010
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 1 橋補修(若宮橋) 5,341 千円	5,341

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,700	34	70,995	
	8,600		500	
120,217			1,727	
			1,858	橋りょう改修工事の施工により、住民の交通の安全が確保された。
11,050			5,960	これまでの壊れたら架け替えるという事後保全的な対応から、予防的な補修を計画的に行う対応に転換したことで、橋りょうの長寿命化と、修繕・架け替えにかかる事業費の増大を回避し、コストを縮減することができた。
3,471			1,870	

事業名	事業内容	事業費
河川改良事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	河川の氾濫及び護岸の崩壊防止のため、改修事業を行った。 護岸改修外 14 河川 13,043 千円	13,043
河川整備事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	<地域の元気臨時交付金事業> ①普通河川江悟の川 4,998 千円 ②普通河川前田川 4,969 千円	9,967
急傾斜地崩壊対策事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	災害危険箇所指定された地域の安全で安心できる生活基盤づくりのため、次の地区の防止事業を行った。 ①潮の浦(2)地区 事業費 21,300 千円 L= 25.0m ②小川地区 事業費 9,300 千円 L= 5.0m うち年度内支出 4,600 千円	25,900
【事項別明細書 270 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①潮の浦(2)地区 事業費 16,645 千円 L= 23.0m うち年度内支出 9,845 千円 ②小川地区 事業費 23,955 千円 L= 33.0m うち年度内支出 15,755 千円	25,600
急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	県が実施する次の地区の整備事業にかかる県工事負担金 津吉地区 <事業費 24,000 千円> 市負担金 4,800 千円 L= 34.0m うち年度内支出 2,378 千円	2,378
【事項別明細書 270 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 津吉地区 <事業費 25,000 千円> 市負担金 5,000 千円 L= 41.0m うち年度内支出 2,970 千円	2,970

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			13,043	河川改修工事の施工により、河川の氾濫及び護岸の崩壊が防止され、住民生活の安全が確保された。
9,600			367	
12,755	12,200		945	市の災害危険箇所指定された地域の崩壊防止工事の施工により、周辺住民の生命・財産を守ることができる。
12,739	11,000		1,861	
	2,200		178	
			2,970	

事業名	事業内容	事業費
港湾整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 272 頁】	船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため、次の港湾整備事業費にかかる県工事負担金 ①平戸港地域自立活性化事業 ＜事業費 65,000 千円＞ 市負担金 8,938 千円 浮棧橋改良（2カ所） うち年度内支出 4,085 千円 ②田平港地域自立活性化事業 ＜事業費 215,540 千円＞ 市負担金 29,637 千円 うち年度内支出 10,831 千円 -2m 物揚場 1 式、道路 1 式、泊地 1 式、船揚場 1 式 ③川内港・古江港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 66,661 千円＞ 市負担金 4,666 千円 川内港護岸改良 L=108.7m うち年度内支出 3,685 千円 古江港護岸改良 L=199.4m ④江迎港港湾改修事業 ＜事業費 3,780 千円＞ 市負担金 945 千円 深月地区流木防止フェンス設置 L=47m	19,546
【事項別明細書 272 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①平戸港地域自立活性化事業 ＜事業費 29,600 千円＞ 市負担金 21,875 千円 浮棧橋改良（1 箇所） うち年度内支出 1,317 千円 ②大島港港湾統合補助事業 ＜事業費 50,000 千円＞ 市負担金 6,250 千円 道路改良 1 式 ③古江港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 15,170 千円＞ 市負担金 1,036 千円 護岸改良 1 式 うち年度内支出 370 千円 ④川内港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 5,910 千円＞ 市負担金 404 千円 護岸改良 1 式 うち年度内支出 147 千円	8,084
都市計画マスタープラン策定事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 274 頁】	本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定を 3 カ年かけて行った。 ・平戸市都市計画マスタープラン策定業務 1 式 2,320 千円 ・その他事務費 94 千円 ・期 間 平成 23 年度～平成 25 年度	2,414
都市下水道整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 274 頁】	昭和 50 年代に整備した都市下水道より上流に家屋が建ち、谷間からの雨水によりたびたび浸水にみまわれたため、地元から、都市下水道の延長要望を受け、下水道整備を 3 カ年かけて行う。 ・都市下水道安全対策工事 84 千円 ・戸石川下水道整備工事 4,915 千円 自由勾配側溝 L=31m 暗渠排水管敷設工 L=24m ・期 間 平成 25 年度～平成 27 年度	4,999

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	10,300		9,246	港湾整備を行ったことにより、船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性が確保される。
			8,084	
			2,414	都市計画マスタープランの全体構想や地域別構想、実現化方策を完成させたことにより、プランに則して事業を展開し都市づくりを進めることができるようになった。
			4,999	都市下水道の整備により、周辺住民の生活環境が一部改善された。

事業名	事業内容	事業費
街なみ環境整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 276 頁】	平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画の整備方針である、「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」実現のため、町屋 8 棟の修景補助を行うとともに、公共施設整備として電線地中化、道路美装化及び水路整備を実施した。	79,158
	①修景施設整備（崎方地区） 11,994千円 整備棟数 3棟 ②修景施設整備（4町地区） 11,994千円 整備棟数 3棟 ③修景施設整備（2町地区） 7,996千円 整備棟数 2棟 ④電線共同溝整備工事（4町地区） 21,710千円 L=370m ⑤地区施設整備 24,878千円 道路美装化工事(崎方) L=34m 道路美装化工事(2町) L=270m 水路整備工事(2町) L=356m ⑥その他事務費 586千円	
【事項別明細書 278 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】	50,531
	①修景施設整備（4町地区） 8,811千円 整備棟数 3棟 ②修景施設整備（2町地区） 5,998千円 整備棟数 2棟 ③電線共同溝整備工事（4町地区） 32,970千円 L=167.5m ④職人町道路美装化測量設計業務委託 2,499千円 現地測量 2.2ha 路線測量 600m ⑤その他事務費 253千円	
美しいまちづくり 支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 276 頁】 【事項別明細書 278 頁】	特徴的で魅力ある景観資産を後世に残していくことを目的に、長崎県の景観資産に登録されている亀岡神社神楽殿を、経年による老朽化対策のため屋根の葺き替え等を行った。 ・景観資産助成事業 整備棟数 1件 4,000千円 亀岡神社「神楽殿」	4,000

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,509	22,600	88	18,961	城下旧町地区において、計画の一部である電線類地中化や地区施設を整備するとともに修景施設を整備したことにより、歴史的な趣のある街なみが形成されつつあり、住民の街づくりに対する意識が向上し、城下旧町地区内にまちづくりの気運が高まった。
24,314	17,000		9,217	
2,000			2,000	歴史的価値がある平戸の重要な景観資産の保存継承に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
まちづくり総合整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 278 頁】	平戸市北部地区の「美しいまちづくり支援地区」及びその周辺地域におけるまちづくりとして、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、都市計画道路亀岡循環線の整備や、平戸市観光交通ターミナルを建設した。 ①亀岡循環線整備 3,308 千円 照明設備工事 1 式 埋立竣功業務委託 1 式 ②平戸市観光交通ターミナル 81,692 千円 電気設備工事 1 式 機械設備工事 1 式 周辺整備工事 自然石舗装 A=972 m ² ③その他事務費 1,046 千円	86,046
【事項別明細書 278 頁】 【事項別明細書 280 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①亀岡循環線整備 168,364 千円 改築工事 (3 工区) L=415m 交通安全施設整備工事 転落防護柵 L=323m 舗装工事 L=415m ②平戸観光交流ターミナル 154,550 千円 管路移設工事 1 式 市港湾ターミナル解体工事 1 式 観光交流センター建設工事 1 式 観光交流センター工事監理業務委託 1 式 仮設待合所改修工事 1 式 仮設待合所家賃賃借 1 式 電線等移設補償費 1 式 備品購入費 1 式 ③その他事務費 1,771 千円	324,685
高齢者向け優良賃貸住宅等家賃低廉化事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	居住用住宅を必要とする60歳以上の高齢者向け優良賃貸住宅(希望の里ひかり)へ入居する収入基準以下の高齢者の家賃減額分を助成した。 ・家賃減額補助 1,038 千円 対象戸数：10 戸 (管理戸数 20 戸中、10 戸ずつを市・県が助成) 延べ 116 月	1,038
耐震・安心住まいづくり支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	昭和 56 年以前に建築された戸建木造住宅の所有者が行う耐震診断・耐震改修計画及び改修工事に係る費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。 ・耐震化診断業務委託料 (2 件) 60 千円	60

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
30,864	31,800	91	23,291	亀岡循環線の改築工事を行い、道路の供用を開始したことにより、交通の緩和及び安全性が図られた。 また、平戸港湾ターミナルの解体工事を実施し、平戸市観光交通ターミナルが完成したことにより、バスやフェリーの利用者の利便性が向上し、新たな公共交通の利用促進と観光の拠点として、観光振興・地域活性化に寄与することが期待できる。
109,009	164,900		50,776	
463			575	高齢者が安心して居住できる住宅を提供することができるのと同時に、入居高齢世帯の負担を軽減できた。
45			15	耐震診断をすることで、地震に対する住宅の安定性を判断でき、その後に改修工事を行うことで民間木造住宅の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。

事業名	事業内容	事業費
老朽危険空き家除却事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	不良住宅や空き家が住環境の妨げとなっていることから、安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化した危険な空き家の除却を行う者に対し費用の一部を助成した。 ・老朽空き家除却事業補助金(2件) 502千円	502
住宅性能向上リフォーム支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	既存住宅のバリアフリー化、省エネ化・防災化など、一定の性能確保ができる良質な住宅ストックの形成を図ることを目的とし、性能向上リフォーム工事を行なう者に対し費用の一部を助成した。 ・住宅性能向上リフォーム補助金 48件(27名) 8,810千円 (バリアフリー化 21件 省エネ化 17件 防災化 10件) ・その他事務費 234千円	9,044
公営住宅整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	【平成24年度繰越明許費】 良質な住宅を供給するとともに、入居者の生活環境の向上を図るため、公営住宅建設の整備を行った。 【社会資本整備総合交付金事業】 ①大膳原住宅A棟外壁・屋上防水改修工事 26,641千円 ②上大垣住宅A・B棟外壁改修工事 8,135千円 ③上大垣住宅C棟外壁改修工事 4,129千円 ④上大垣住宅D棟外壁改修工事 4,632千円 ⑤馬の元団地A～C棟外壁・屋上防水改修工事 12,643千円 ⑥馬の元団地D・E棟外壁・屋上防水改修工事 12,391千円 【単独事業】 ①上大垣住宅A～C棟電気引込改修工事 1,489千円	70,060
公営住宅改修事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	入居者の生活の安全及び居住環境の向上を図るため、老朽化した既存住宅の外壁改修及び屋上防水等の改善を行った。 【社会資本整備総合交付金事業】 ・下亀団地解体工事2棟4戸 2,006千円 【単独事業】 ・大膳原住宅駐車場整備工事 2,463千円 ・大膳原住宅B棟量水器取替整備工事 1,229千円 ・大膳原住宅B棟No2揚水ポンプ取替工事 472千円 ・大膳原住宅A棟階段ノンスリップ修繕工事 403千円 ・清水川住宅駐車場整備工事 3,793千円 ・中の原住宅フェンス設置・法面補修等工事 191千円 ・中の原住宅法面舗装工事 1,022千円 ・紐差下里住宅側溝蓋補修工事 152千円 ・永田団地駐車場整備工事・電柱移転 8,835千円 ・永田団地駐車場外灯工事 940千円 ・永田団地駐車場設置工事 652千円	22,158
老部浦住宅建設事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の生活環境を整備するため、老部浦住宅建設事業に着手した。 【単独(補助対象外)事業】 ・市有地交換分筆登記業務委託料 377千円 ・期 間 平成25年度～平成27年度	377

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
250			252	住環境の妨げとなっている空き家の除却により、安全・安心な住環境づくりを促進するため、居住環境を向上させることができた。
8,283			761	住宅の性能確保が出来る良質な住宅ストックの形成を図ることができた。
26,699			43,361	良質な住宅が供給され、入居者が安全で快適な生活ができる居住環境を提供することができた。
828			21,330	老朽化した既存住宅の利便性や安全性が改善され、入居者の生活の安全及び居住環境を向上させることができた。
			377	県有地である老部浦住宅建設用地の交換用地として、市有地の分筆登記を行った。